

パブリックコメント実施報告

1. 実施概要

(1) 意見募集期間

平成20年10月14日から～同11月10日まで(当日消印有効)

(2) 配布方法

関係各所へのパンフレット附置

計413箇所、15,000部

- ・国営木曽三川公園各拠点(有人屋内施設のある拠点) 木曽川上下流河川事務所：10箇所
- ・中部地方整備局管轄・関連施設(ハイウェイオアシス・河川国道事務所等)：50箇所
- ・沿川市町村の広報附置場所(役場・道の駅・図書館・博物館等)：286箇所
- ・関連施設(近隣の主要な公園事務所、なばなの里、長島温泉など類似の有料施設)：67箇所

ホームページによる公開

国営木曽三川公園ホームページ、中部地方整備局のホームページのトップページ並びに沿川自治体ホームページにバナーを表示し、パブリックコメント専用ページにおいて意見募集

(3) 回収方法

- ・パンフレットは料金受取人払いのハガキとファックス用質問ページを含んでおり、ハガキを切り取って投函するか、ファックス用質問ページを送信できる形とした。
- ・ホームページにはアンケートフォームを設置し、インターネットから直接意見を送信できるようにした。

２．回収状況

（１）意見総数

６８件　うち有効回答数６７件

（郵便４５件、ファックス５件、インターネット１８件）

（２）回答者の属性

性別

性別	件数	%
男性	55	82.1%
女性	11	16.4%
無回答	1	1.5%
総計	67	100.0%

年齢層

年齢層	件数	%
10代	1	1.5%
20代	7	10.4%
30代	14	20.9%
40代	12	17.9%
50代	14	20.9%
60代	13	19.4%
70代以上	6	9.0%
総計	67	100.0%

住所

住所	件数	%
愛知県	30	44.8%
岐阜県	23	34.3%
三重県	3	4.5%
静岡県	2	3.0%
その他府県	9	13.4%
総計	67	100.0%

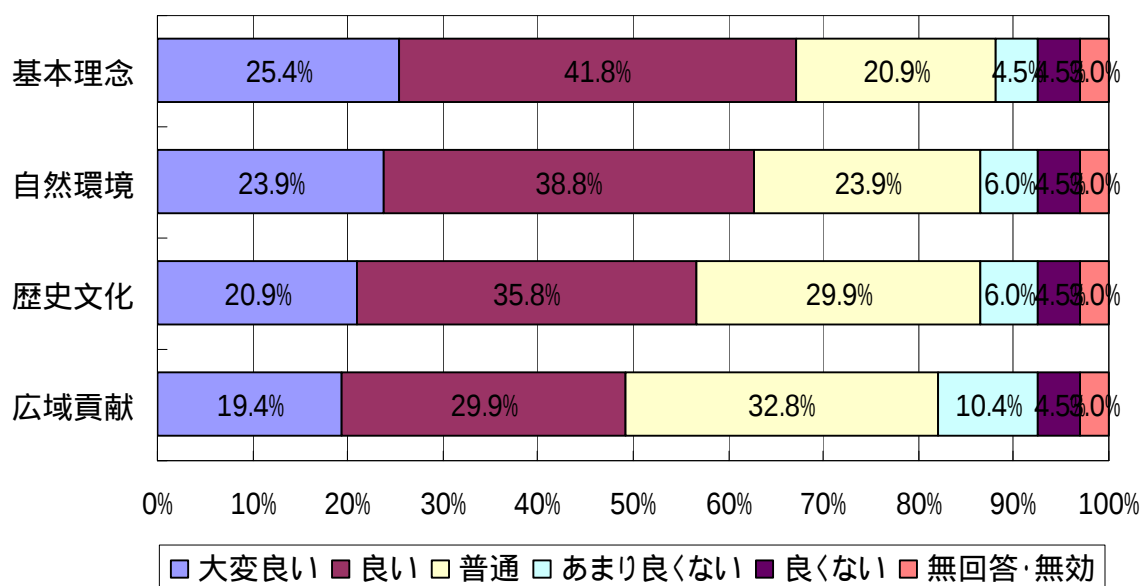
利用頻度

利用頻度	件数	%
月に１回以上	7	10.4%
年に数回程度	24	35.8%
年に１回程度	14	20.9%
数年に１回程度	16	23.9%
利用したことがない	6	9.0%
総計	67	100.0%

3．結果概要

3 - 1．集計結果

		大変良い	良い	普通	あまり良くない	良くない	無効 無回答・	計
Q1 基本理念について どう思われますか。	件数	17	28	14	3	3	2	67
	%	25.4%	41.8%	20.9%	4.5%	4.5%	3.0%	100.0%
Q2 自然環境に関する 整備運営方針について どう思われますか。	件数	16	26	16	4	3	2	67
	%	23.9%	38.8%	23.9%	6.0%	4.5%	3.0%	100.0%
Q3 歴史文化に関する 整備運営方針について どう思われますか。	件数	14	24	20	4	3	2	67
	%	20.9%	35.8%	29.9%	6.0%	4.5%	3.0%	100.0%
Q4 広域への貢献に関 する整備運営方針につ いてどう思われますか。	件数	13	20	22	7	3	2	67
	%	19.4%	29.9%	32.8%	10.4%	4.5%	3.0%	100.0%



3 - 2 . 自由意見

国営木曽三川公園基本計画案に直接関係ないと思われるご意見等については割愛させていただいております。

(1) 全般

区分	ご意見の概要	国営木曽三川公園の考え方
基本計画への全般的評価	具体的な内容がわかりにくい (3 件)	基本計画は、公園が目指すべき方向性等の目標を記載するものです。今後の具体の事業を進める中で、よりわかりやすく皆さんにお伝えするよう努めます。
	事業の方針、進め方としては理解できるが、目指すものがわからない(1 件)	木曽三川公園は、川や流域のもつ魅力である自然環境や歴史文化そして広域的な広がり・つながりをいかしながら、これらを守り・感じ・楽しみ・学ぶ場となることを目指していますが、今後の具体の事業を進める中で、よりわかりやすく皆さんにお伝えするよう努めます。
	学びを前面に出すのではなく、来て見て遊んで気がついたら学んでいたというのがよい(1 件)	今後の事業計画等の検討において参考とさせていただきます。
	下流だけの取り組みでは、川全体への思いが欠けるのではない(1 件)	源流や上流へ視点を広げる必要があることは認識しており、広域貢献の項にしました。また、今後の検討課題にも引き続き検討する旨明記しました。
計画の実効性	厳しい財政状況の中、この計画内容は実施可能か(2 件)	ご指摘のとおり大変厳しい財政状況の中ですが、基本計画の理念を実際の事業に反映させるために、コスト縮減に努めながら関係機関との調整に努めて参ります。
情報発信	インターネットが利用できない人や遠くの人にも情報が届くようにしてほしい(2 件)	木曽三川公園の情報は、現在も国土交通省や県・市町村の広報誌、インターネット等を通じて情報発信させていただいておりますが、インターネットができない方にも情報をお届けするため、報道機関への情報提供を行ったり、国土交通省や県・市町村の広報誌などを出来るだけ活用するようにし、広域的な情報発信に努めます。
整備促進への期待、公園への評価	良い公園である、早期に整備を完成してほしい(6 件)	貴重なご意見をありがとうございます。今後とも、着実に事業を進め、皆様のご期待に応えられるよう努力して参ります。
	木曽川沿いがすべて国営公園になると聞いたが、いつ完成するのか(1 件)	木曽三川沿いには、河川を管理するために必要な施設や、自治体が設置している公園緑地等もあり、すべてを国営公園として整備するわけではありません。国営公園では、基本計画でお示したように、利用の拠点となる地区の整備を進め、関係機関と連携しながらそれらのネットワーク化を図っていく予定です。なお、今後の社会経済情勢にも影響されますので、事業完成の時期は現段階ではわかりません。
	輪之内町にも重要な土木遺構や文化的景観があるので、国営公園に含めるべき(1 件)	本公園の区域は木曽三川の河川区域とそれに隣接する一部堤内地を基本として定められています。公園の展示施設で周辺地域の歴史文化資源をできる限り紹介するとともに、周辺地域を周遊するイベントを開催するなど、周辺地域の歴史文化資源にも関心をもっていただけるような取り組みを進めているところで

(2) 自然環境に関して

区分	ご意見の概要	国営木曽三川公園の考え方
自然環境への理解・活用に関する提案・要望	親子向けの環境教育や、学校と連携した環境教育が重要である(2件)	子ども達が川に親しみ、川への理解を深めることができるような環境教育プログラムの充実に努めて参ります。
	川は基本的に自由使用が認められているはずなので、整備をすることで利用を制限することがないようにしてほしい(1件)	今後の整備において参考とさせていただきます。
基本計画に不足している視点等	景観、リサイクル・リユース、自転車道、歩行者環境整備などに関する方針を盛り込むべきだ(1件)	利用者の皆様の安全確保、景観や自然環境の保全、環境負荷の軽減に配慮した整備運営を進めて参ります。 ご指摘の趣旨を受け、環境負荷軽減に努めることがわかりやすくなるよう文章を修正しました。
	もっと積極的な活用方法を示してほしい。(1件)	基本計画は、公園が目指すべき方向性等の目標を記載するものです。今後、具体的な整備内容を検討する中で参考にさせていただきます。
	サイクリングやスポーツが自然環境の理解にどうつながるのか理解できない(1件)	具体的な整備内容を検討する中で参考にさせていただきます。
公園整備による環境破壊への懸念	公園整備は自然破壊につながるのではないかと、手付かずの自然を残すべき、お金を掛けて整備しても利用しない日数が多い、再生事業でなく自然再生を、木曽三川の植生変化と役割に配慮すべき(6件)	国営木曽三川公園は、木曽三川の豊かな自然環境を保全することを第一義に考えて整備をしますが、市民の皆様が川に親しむ場として利用していただくため、駐車場やトイレなど必要なサービスを提供する施設も整備します。これらの施設整備に際しては、現在ある地形や植生、景観をできる限り保全し、川本来の自然環境や風景を楽しんでいただけるよう配慮していきます。また、当然のことながらコスト縮減にも努めてまいります。 ご指摘の趣旨を受け、施設整備にあたって配慮する事項がわかりやすくなるよう、文章を修正しました。

(3) 歴史文化に関して

区分	ご意見の概要	国営木曽三川公園の考え方
歴史文化の保全・活用に関する提案・要望	河川の成り立ちを深く追求すべき、デ・レーケの情報がほしい、展示物の定期的な更新をしてほしい(2件)	木曽三川公園センターの「水と緑の館」では、展示施設の大規模改修を進めているところです。河川の成り立ちや歴史、オランダ人技師たちの果たした役割などについて、展示施設の中でも紹介しています。 展示物の更新については、貴重なご意見ありがとうございます。
	上流から下流まで歩く「川の歴史歩こう会」を開催してほしい、一般の人向けの研修会や学習会を開催してほしい(2件)	サイクリングで歴史めぐりを楽しむイベントなどを開催しています。いただいたご意見は今後の取り組みの参考とさせていただきます。
	木曽三川公園のある地域は壬申の乱の行動ルートである、川と戦った場所である、歴史的に重要な場所である(2件)	今後、展示紹介の内容更新等を行う際の参考とさせていただきます。

基本計画に不足している視点等	自治体との連携方策を具体的に示して欲しい(2件)	基本計画は、公園が目指すべき方向性等の目標を記載するものです。従って、ご指摘の内容については、今後の地域連携を具体化する中で参考とさせていただきます。
----------------	--------------------------	---

(4) 広域貢献に関して

区分	ご意見の概要	国営木曽三川公園の考え方
ネットワーク	川を見ながら走ることができるサイクリングロードを整備すべき(2件)	木曽三川の長大な河川空間や豊かな自然を楽しみながらサイクリングや散策などを行えるよう関係機関と連携しながら取組みを進めます。
	分散する歴史文化資源を連続パノラマとして楽しめるようにすべき(1件)	
	船の運航、船による公園めぐりはできないか(2件)	今後、地域連携を具体化する中で参考とさせていただきます。
	拠点を結ぶバスを運行してほしい(1件)	今後、地域連携を具体化する中で参考とさせていただきます。
防災	近隣自治体等と防災上の連携を具体的に考える必要がある(1件)	本公園の拠点の中には、地元自治体の防災計画の中で広域避難地や一次避難地として指定されているものもあります。そのような拠点では、災害が発生した際の公園の運営方法や、国と自治体の役割分担などについて協定を作成するようにしております。
	地球温暖化による降雨量の増加が予測される(1件)	地球温暖化対策として、公園も大きな役割を担っていると考えております。
	多くの施設が高水敷にあるが防災対策は大丈夫か(1件)	防災機能を有すると位置づけられている拠点については、地元自治体と調整しております。

(5) 利用に関して

区分	ご意見の概要	国営木曽三川公園の考え方
公共交通	どの拠点も公共交通の利用が難しい、公共交通の利用を促進しマイカーを抑制すべき、鉄道駅を近くに設置できないか(3件)	公園へのアクセス向上を図るため、駐車場の運用方法の改善等を図るとともに、まちづくりと一体となって地元自治体や関係機関と連携して公共交通の利用促進等をはじめ必要な対策に取り組みます。 ご指摘を受け、今後の取り組み方針がわかりやすくなるよう、文章を修正しました。
渋滞対策	公園に行くアクセスがいつも渋滞しているので道路整備を考えて欲しい、公園だけでなく周辺の社会インフラの整備についても考慮してほしい、治水神社近辺に架橋してほしい(4件)	
管理運営	整備したままで細かなところまで配慮されていない、維持管理の方法を見直すべき(2件)	皆様に安全、快適に利用していただけるよう管理運営に努めていますが、今後の管理において参考とさせていただきます。
	利用者の立場にたってもっと柔軟に管理運営すべき、駐車場の開閉門の時間は利用状況に応じて柔軟に対応してほしい(1件)	今後の管理において参考とさせていただきます。
その他	花が咲く木や紅葉の美しい木を植えて花の咲く園にしてはどうか(1件)	今後の整備・管理において参考とさせていただきます。

(6) 参加・連携に関して

区分	ご意見の概要	国営木曽三川公園の考え方
・	地域とのつながり・連携をどう進めるのか、利用者・地域住民の関わり方を明文化すべき(2件)	地域(自治体や住民)との連携には様々な方法がありますが、本公園では、イベントを自治体と共催したり、イベントに地域住民の方々に参加してもらったり、園内の維持管理や学習プログラムの提供に地域住民やNPOの方々のご協力をいただくなどの取り組みを今後も進めて参ります。
	事業体が「場」を提供するとは、広場を整備して内容はNPO等に提供してもらうということか、自ら何かを提供するのか(1件)	利用しやすい広場や施設を整備することも、またそれらを使ったレクリエーションや学習のきっかけを提供したり、利用方法を提案したりすることも国営公園の役割と考え、それらを総称して「場」という表現を用いています。ただ、公園でどのような活動を行うかは本来、利用者が考え、選択する事柄ですので、NPOや市民団体に公園の管理運営に参加していただき、公園利用の幅を広げ質を高めていくことが重要と考えます。

(7) 各拠点に関して

区分	ご意見の概要	国営木曽三川公園の考え方
フラワーパーク江南	周辺緑地は河畔林として重要なので、その自然特性を活用すべき(1件)	河川特有の環境を保全するとともに、特性を活かした整備・活用を図ります。
	フラワーパーク江南のせせらぎは「ふれあいの場」ではないのか(1件)	フラワーパーク江南で整備しているせせらぎは、景観面で楽しんでいただくことを重視しており、安全面の配慮からせせらぎの中に入ることはご遠慮いただいています。
かさだ・各務原	オオキンケイギクは定着してしまっているので防除でなく拡大防止に努めるべき(1件)	現在、オオキンケイギクの防除や拡大防止のための手法について実験・研究が進められており、この結果を受けて、今後、防除が可能であるのか、あるいは拡大防止に徹するべきであるのか検討し、必要な対策を講じていく予定です。
	ホタルを再生できないか(1件)	今後、荒れた竹林や樹林を整備し適正に維持管理し保全することにより、様々な生き物が生息・生育できる自然環境を再生していく予定です。
138タワーパーク	ツインアーチ138を無料にして欲しい(5件)	ツインアーチ138は、国営木曽三川公園 138タワーパーク内にありますが、都市再生機構が整備・所有し、入園料によって当初の建設費や維持管理費をまかなっていますので、利用者の皆様方には一定の負担をお願い申し上げているところです。
三派川地区全般	ボランティアなどの応援を得て、砂礫河原やワンドの再生をすべき(1件)	木曽川水系河川整備計画では、砂礫河原やワンドの再生を位置づけています。その際には、ご提案のように、市民の方々などのご協力をいただくことが必要であると考えます。
	南派川の流水環境の確保に取り組んでほしい(2件)	木曽川水系河川整備計画では、南派川の流水環境の確保を位置づけています。
	南派川は石河原を残し、石をテーマにした環境・治水・歴史・物づくりを展開しては(1件)	今後、三派川地区の歴史文化を紹介する取り組みを検討する際の参考とさせていただきます。
	笠松や一宮に国営公園をつくらせほしい、つなげてほしい(1件)	一宮では138タワーパークが開園していますが、笠松で国営公園を整備する計画は現段階ではありません。三派川地区の拠点間をつなげるサイクリングロード・遊歩道の整備については、現在、沿川自治体とともに構想を検討しているところです。
桜堤・背割堤	桜を多く植栽し、下流はマツ、上流はカエデにしてほしい(1件)	木曽長良背割堤にある桜並木にちなんで、桜堤サブセンターと名称付けしており、現在の桜並木等を出来るだけ残して自然環境の保全・再生を図っていくこととしています。植樹を行うことは検討しておりませんが、今後の事業計画を検討する際の参考とさせていただきます。
	背割堤地区の自然資源保全・活用(1件)	(仮称)木曽長良背割堤は、ワンドやオギ原、ヤナギ林など豊かな水辺の環境が残されている非常に貴重な場所ですので、公園として整備・活用していく際には、自然環境の保全を第一に考えて参ります。
	桜堤の舗装化、東海大橋とのアクセス改善、水上バイク・ウィンドサーフィン・若者や家族のレジャーの場とする(2件)	木曽長良背割堤の舗装や車両進入については、自然環境保全や通過交通排除の観点から慎重に検討すべきものと考えます。また、木曽長良背割堤の活用にあたっては、その豊かな自然環境に触れていただくような利用を主体とし、利用することによって自然環境が損なわれることのないよう十分に配慮すべきと考えます。
アクア・大江	(仮称)大江緑道と木曽三川公園センターを接続するよう図示すべき(1件)	(仮称)大江緑道は、河川事業などと連携しながら木曽三川センターと連結できるよう整備を進めていく予定です。

木曾三川公園 センター	下流事務所主催のプロジェクトで木曾三川公園センターへのイスの設置を提案したが、前向きな回答がない(1件)	ご指摘につきましては、改めて具体的な場で協議するとともに、今後、一層の意思疎通を図って参ります。また、木曾三川公園基本計画では市民の皆様を始め多様な方々との参加と協働を理念としており、ご意見は個別の事業実施時に活かさせていただきます。
鵜戸川	鵜戸川は外来魚対策をしながら干拓地の食文化や歴史を伝える場として整備してはどうか(1件)	鵜戸川は、東海広場と合わせて、水辺の自然に親しみ、広々とした空間の中で集い、憩う場を提供しようと考えております。いただいたご意見は、今後の整備計画を検討する際の参考とさせていただきます。
河口地区	河口地区にはひとつしか拠点がないのか、木曾岬干拓地を追加すべき、川風を利用した帆船を(3件)	木曾岬干拓地を本公園の区域に含めるかどうかも含め、河口地区については、区域の範囲や拠点の役割・配置等を今後検討していくこととしています。
拠点全般	拠点毎に特徴づけるよりも色々な要素が集まった公園の方がよい(1件)	各拠点は、それぞれの場所に依拠して自然環境の特徴も歴史的背景も異なりますので、すべてを同じような公園とすることはできません。また、土地の状況にあった整備を行う方がコストは縮減されます。利用者の皆様には、それぞれの場所の特性に応じた公園の特徴を楽しんでいただきたいと思います。